



マニュアルと

CUBE・PDF変換作品

P1無料PDFソフトの解説

フリーソフトのURLを記したJGEMのブログのURL

<http://wropon.jugem.jp/?eid=556> アクセスしてね

これを見ないと次のページからのPDFの説明がわかりません。

この文書は CUBE で作成しました。

ここに、CUBE (キューブ) PDF のインストールの手順を重要なポイントに絞り途中は割愛し解説します。最初だけを間違わねば後は指示に従えば大丈夫です。

まず、CUBUDWN というようなフォルダを作成する。

1
2



無料ダウンロードのボタンをクリックそして DWN アイコンの置く指定を CUBEDWN のフォルダにする。

必ず、保存をクリックし、保存場所がわかるようにする、そうしないと3からできないようになる。

3



Cubepdf-0.9.94b というアイコンが出現していますね、では、それをクリックしてください。

4



セット Up ウィザードの次をクリック

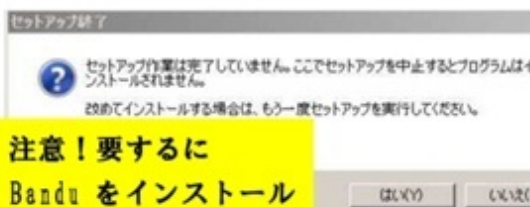
5



BaiduIME 要するに台湾企業の入力ソフトですが、現在の状態のままで良い人はインストールしないにチェックし、次へをクリック。

セット Up の終了、ここでは5の

6



注意！要するに Baidu をインストールさせる手です。

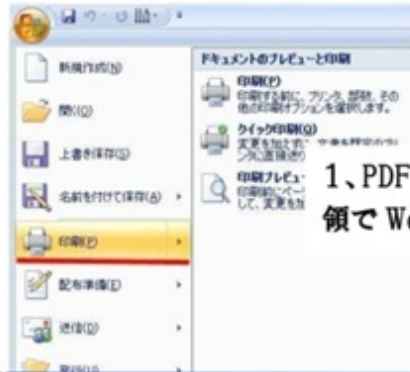
BaiduIME をインストールしない人は「はい」をクリック、大丈夫、「はい」でも良いです。

いいえをクリックすると Baidu をインストールするにチェックして、「完了」をクリックする。

PDF の印刷

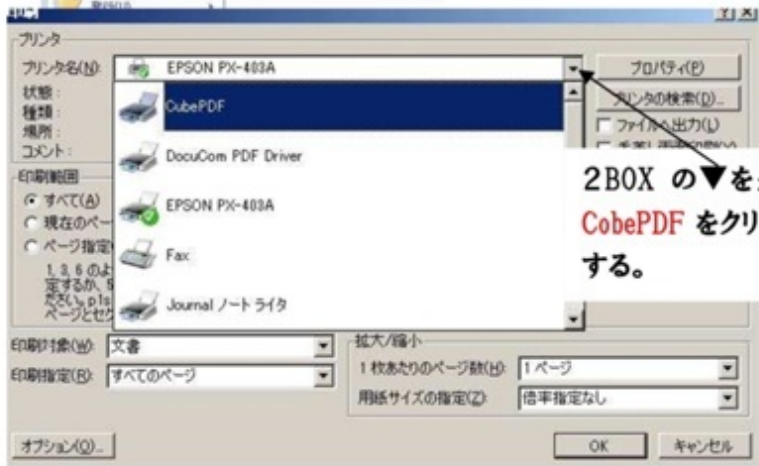
前ページまでの設定が終了したら PDF の印刷、つまり紙がないデジタルなpc内部の仮定の印刷なわけです。手順も印刷と同じです。

1



1、PDF 変換する文書を開き、印刷する要領で Word の印刷をクリック、

2



2BOX の▼をクリックし、CobePDF をクリック、OK をする。

3



変換をクリックで PDF 変換が始まる。

4



このような Adobe (アドビ) リーダーに変換されましたら ×で閉じてください。

5



デスクトップ上に変換ファイルが出現してますね。それをどこかに保存してください。

それで PDF 変換は終了で、PDF インポートなどにご利用ください

みやぎの民話

栗駒南山麓の昔語りから



目次

[川流れ童\(わらす\)1～4へ](#)

[川流れ童\(わらす\)5～9へ](#)

少しでも心が動きましたらクリック応援お願いします！！ [人気blog Ranking](#)

携帯の方はこちらをクリックしてください。ランキングサイトが表示になれば投票有効になります [人気ブログランキングへ](#)

[GMO ブログセンター](#)

[イラストエッセイ](#)

[にほんブログ村](#)

[オートネットリンクに登録しませんかトップ](#)

この Word はCUBE で作成しました。

プロローグ



むがす むがす、ずっとむがす・・・。



あっどこに一人の若え者が住んでいたんだ・・・。



稼いでも稼いでも食しくて、、、



山さ行って、花取ってきて、カゴさ入れて背負って（しょって）



町さ行って、そいづを売って細々と暮らしていたんだど・・・

しょんぼりと



くる日もくる日もそうやって売って歩いたんだけど、いつも、花、
売れ残ってくるのね
売れ残ってくると、しょんぼりと橋の上さ立ってその花、川さ流して
やるんだど。



しおれた花だけど、三尺（約90cm）も流れると、川の水を吸って、生き生きとなって流れて行くんだ。



ある日もやっぱり売れ残った花を流していたら川の中をシュルシュルシュルとヘビが上ってきたんだ・・・

あばいん（行きませんか）



そして、橋の上に立ってる若え者（わけえもの）に、声かけるんだど。
「オレは、この川をズッと下ったところから来た。そこにはお姫様が居（お）りすて」



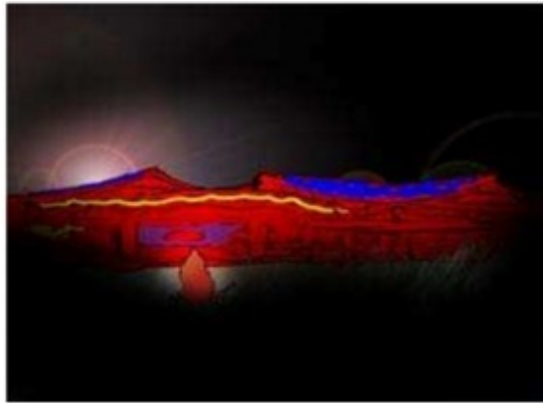
「あんだが、毎日花くれるから、うんとお礼がしたくて、
ぜひ連れて来いってオレを使いに出したのですが。」



「どうぞオレの背中に乗ってあばいん（行きませんか）」って言って、ちゅっと向きを変えて、背中を突（つ）ん出（だ）したんだど。



若え者が喜んでへビの背中に乗ったれば、へビ、走り出したんだど、川を下って、どこまでもどこまでも、それはそれはずうっとずーと、なんぼ下ったかわかんねえころに、ポカッと明りっこ見えて、



そこにりっぱな御殿があらわれたんだど・・・

楽しい御殿生活



そして御殿内に案内され・・・。



お姫様や・・・。



大勢の女の人の舞などを見て、毎日毎日、うんと楽（たの）すい思い
して暮らして居だけど・・・月日がたって、



ふっと若え者は、また山の草花が恋すくなってきたんだと、「あの花、
いまごろ咲いていたべか。」



「この花、あすごさ生（おが）ってべかなあ」・・・と
こんだあ、毎日毎日、山の草花思い出して、家（え）さ帰りたくなっ
たんだど・・・

ホウ



ほだがら、お姫様さ・・・。



「オラ、明日は帰（きゃ）る、家（え）き帰（きゃ）りたい」って、夜にそっと話したれば、お姫様うんと悲しそうにして・・・。



「どうしても帰るのですか」って言うから「どうしても帰りたい」って言ったれば
「んだばら、お土産を上げっから・・・」
（なに、お土産、呉（け）るんだべ）とキョロキョロしたれば、面臭（めくせえ・みにくい）童（わらす）を連れてきて、
「これがお土産でがす。名前はホウっていうから、可愛がってけらいん」って言われたんだど



よくよく見ただけえ **目腐れ** (めくされ) 鼻くそ、耳だれ、まずまず、こいな汚い童 (わらす) 今まで見たことねえがったというくらいの童 (わらす) だったんど。

めくされ【目腐れ】

(1) 眼病のため、目の縁がただれていること。



それでも「いらねえ」とも言われず、その童 (わらす) 連れてまたへびの背中に乗って橋の下まで送られてきたんだど・・・

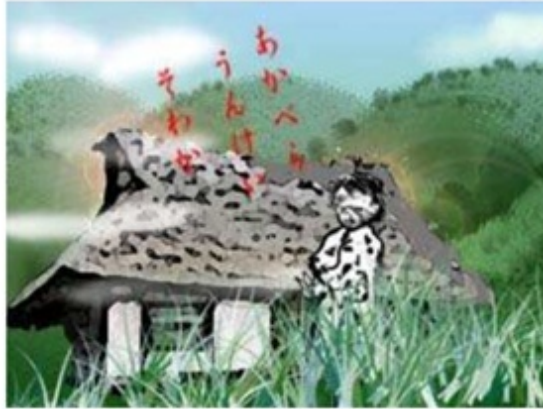
不思議な呪文



家（え）さ来てみたれど、あばら家だし、古いし、狭いし、
「こすたな童（わらす）、連れ（ちゃで）来たって家はこうだす、どん
なくして住むべや、」
「立派な家、欲すいなあ！」って愚痴ったんだど



そうしたら、ホウが、
「なに！立派な家欲すいだってが・・・そんなごどお安いごった！」
って後ろ向いて三回唱（とな）えたんだど・・・
あかべら うんけい そわか
あかべら うんけい そわか
あかべら うんけい そわか って



食乏くさいムシロ下げてた小屋が、スッパと消えて、その跡さ立派な家
が出たっつうもの。



若え者はたまげて、もっと困れせてやれば、ホウ出て行くか、知(し)

ゃねえどって・・・

遊び人



「こいな家出たってもやあ！ご飯食う皿も小鉢（さはち）も欲すいべちゃ、布団だっている！」



ホウが「みんなおやすいごった」とまたも、
あかべら うんけい そわか
あかべら うんけい そわか
あかべら うんけい そわか



と三回唱えたらば、見たことがないような立派な品物がみなそろったんだね。



若え者（わけえもの）は、庭欲すい、着物欲すい、履物（はきもの）



欲すいって・・・。

北斎漫画を参考にす

毎日たのんで出してもらって、うんと福しくなったんだちゃ・・・

お安いごった

働かないでボケっとして暮らしてもなに不自由ないものね、こんだぁ退屈（てえくつ）になって、面白（おもしろ）処（どこ）さ行ってみでいと思ってね



「おれは都に行きたい」って言ったんだど



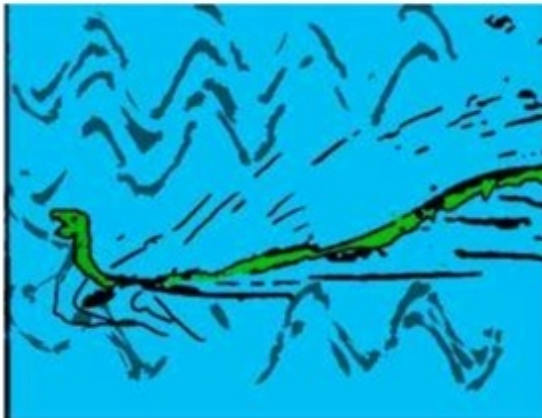
したら、ホウも「おれも行く」って言ったっけ



若え者が「なに。オメィも行くだって。都つうどこは、そしたな面
奥（めんくさゑ）童（わらす）行く処（どご）でねえ」
「オメィは家さ居ろ、オメィなんか、もういらねえ、処（どご）さで
も行げ！」って、若え者が言うと



ホウは「それもお安いごった」って川のほうさ走っていったんだど



そして、橋の上から、ドボ
ンと飛び込んで、へビにな
ってズッと流れて消えたん
だど・・・

あとのまつり



若え者が、あとをついて行ってみたら、ホウの姿はどこにもなく



ふいっとふり向いて見だっけえ



御殿のような家も、皿も小鉢（さはち）も、夜具布団もなんにもなくてムシロのかかったもとのあばら家がポツンとあるばかり

だったんだど。



「これは埒（らつ）も無（ねえ）こどになってしまった」となげいたけど、あとのまつりでね、またもとの花売りに戻ったんだど。

<川流れ童（わらす）完>

マニュアルとCUBE・PDF変換作品

<http://p.booklog.jp/book/35774>

著者：ろっぽん

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/roprop/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/35774>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/35774>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.